

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
	1 23	利用者の表情や仕草で、気持ちを汲み取ることが重要な対応であるが、日常生活における配慮にすべてで活用できるかという点と難しい部分がある。	ケアチームで介護計画の為に会議を行う。	ケアチームが集まり情報の共有をしながらケアプラン原案の問題点を修正する為のミーティングを行い、より良い計画を作成する。	1ヶ月
	2 26	サービス計画書への記載で、介護保険の用語や内容は、利用者様・家族様には抽象的だと解り難い。	利用者様・家族様に解り易い計画書を作成する。	利用者様・家族様に解り易い内容になるように今後の計画書を変更していく。研修に参加したり他のケアマネの意見を参考にしたりする。	6ヶ月
	3 30	利用者様・家族様は、医療保険・介護保険について知識が少ないことが多い。	受診・往診について入居時の説明を丁寧にする。	受診・往診は事業所と同一内の病院に限らず、利用者様・家族様に選択していただくことを説明する。	1ヶ月
	4 32	入退院時に連携先の病院と連絡を取り合った後の職員間との共有。	会議録、及び計画書内容について具体的に内容を記載し、職員間で共有をする。	退院前のカンファレンスの内容をケアチームに伝えた上で、身体状況の変化があればケアプラン変更の為のミーティングを行う。	1ヶ月
	5 45	1年を通じて3日に1回の入浴になっている。	入浴で清潔保持はできているが、気分転換や爽快感を得る為、入浴回数を希望する方だけでも回数を増やす。	ご希望を聞き、入浴をしたい方にはなるべく入っていただけるようにする。具体的には、午前に3名は入られているので、希望者は午後1名～2名、14時～15時半を入浴時間とする。	1ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
	6	車椅子生活の方や、外出に拒否のある方は、散歩やドライブが難しいので、施設前の花壇を見たり隣接の駐車場で日光浴をしている。しかしその様子を家族と共有できていない。	車椅子生活の方や外出に拒否のある方も、日光浴などで短時間でも外気に触れ気分転換ができる支援を継続し、それを家族とも共有する。	車椅子生活の方の家族様の中には、施設内だけで過ごしていると思われる方もいるので、日光浴などで外気にも触れている様子を写真に撮り報告をする。	1ヶ月
	7	地域の方々に「認知症の理解」への講話など、ケアの啓発に向けた取り組みをする。	地域の方々に「認知症の理解」への講話ができる機会を設ける。	管理者と介護支援専門員が主となり、認知症実践者研修受講者が学んだ知識や経験を活かし地域の方々を招くか、公民館を借りて勉強会を開く。	6ヶ月
					ヶ月
					ヶ月
					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。